

わくわく地域連携教育だより

下関市教育委員会
第2号
令和6年5月15日

下関市の教育理念を地域連携教育で実現！

令和6年度
下関市学校教育指導上の努力点

下関市教育理念

夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志
学びが好きな子ども 学びの街・下関

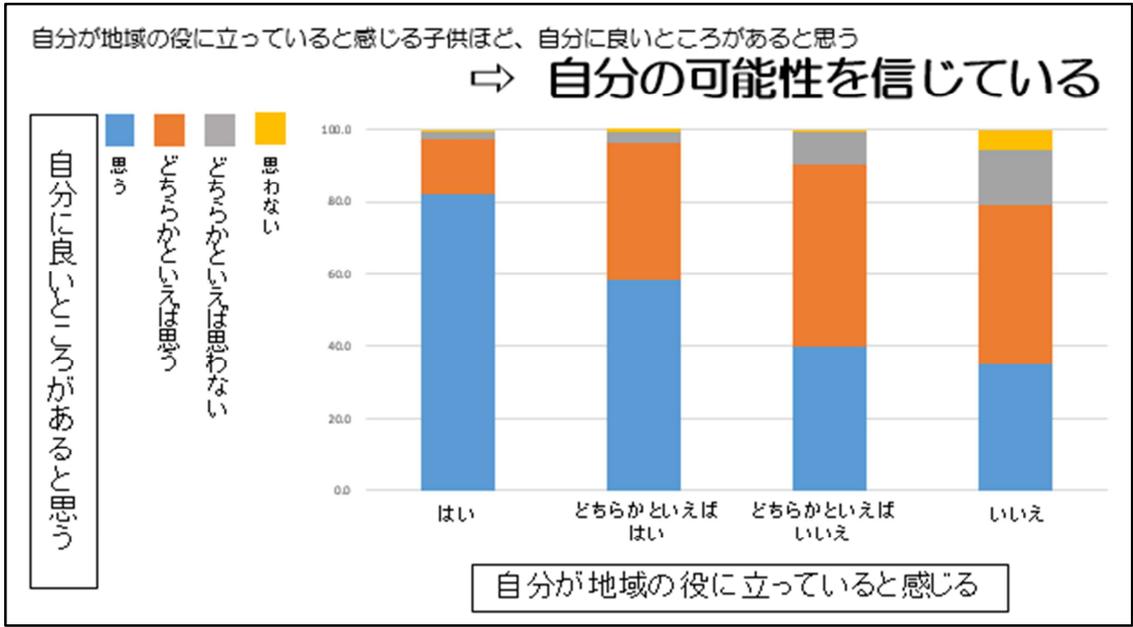
夢への挑戦	○自分の可能性を信じ、夢に向かってあきらめずに挑戦する子供を育てます。 【夢へ挑戦するために必要な力】 ○学んだ知識をもとに、的確に判断し、行動する力 ○他者を思いやり、感謝する心や感動する心などの豊かな人間性 ○たくましく生きるための健康や体力
生き抜く力	○生き抜く力を身に付け、郷土の自然や人、歴史、伝統、文化に「誇り」をもち、「志」を抱いて社会で活躍する人材を育てます。
胸に誇りと志	

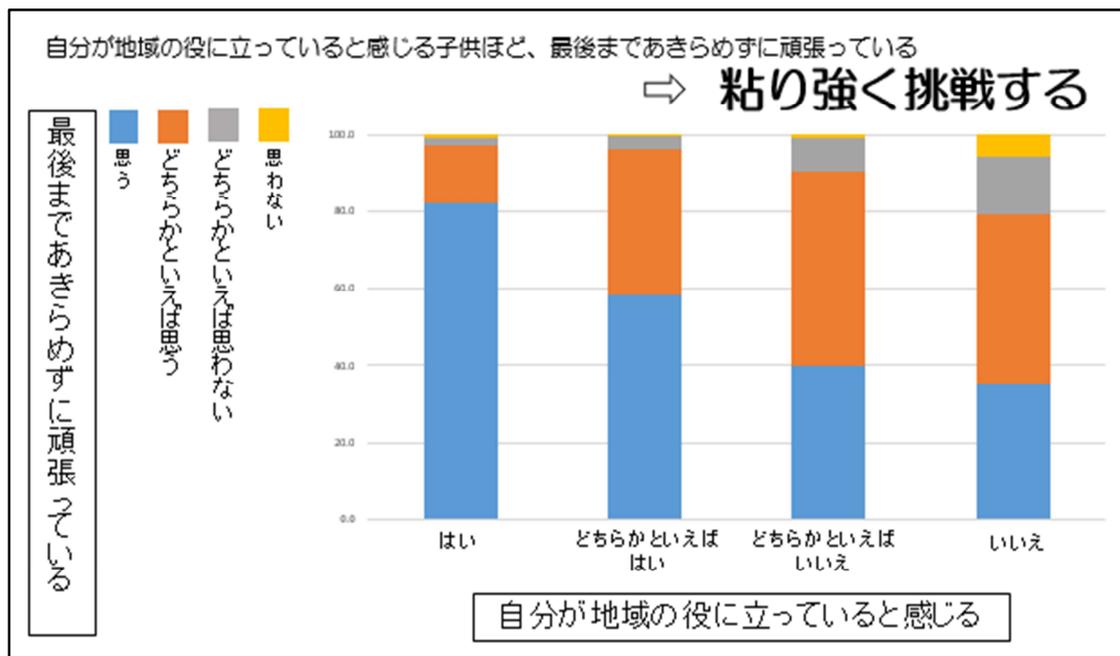
下関市の教育理念は、「夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志 学びが好きな子ども 学びの街・下関」です。

この教育理念は、「家庭教育」や「社会教育」を含め、下関市全体で目指すものです。では、地域連携教育がどのように下関市の教育理念の実現に貢献するのかをご説明いたします。

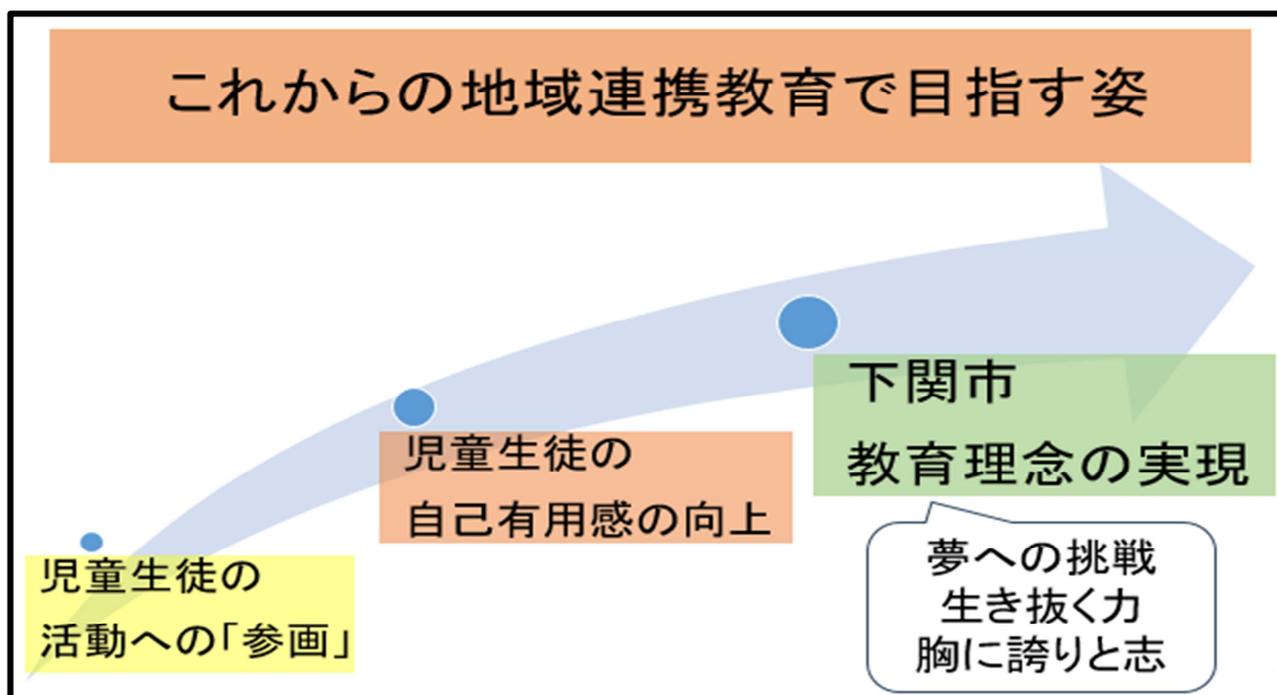
「夢への挑戦」をする子どもたちを育てるためには、「自己有用感」が大事！！

下関市では、令和5年12月に市内の小学校5・6年生～中学校3年生を対象としたアンケートを実施しました。その結果から次の2点が見えてきました（グラフ参照）。





2つのグラフから、自分が地域の役に立っていると感じる（自己有用感）子どもは、自分の可能性を信じ、あきらめずに挑戦する気持ちが高いことがわかります。



学校・家庭・地域が、地域連携教育を進め、子どもたちがより地域とかがわる場をつくることで、子どもたちの「参加」＋「参画」を促します。そのようにして、子どもたちが地域の一員（当事者）として輝くことで、自己有用感が向上し、そのことが、下関市教育理念の実現につながっていきます。社会全体で子どもたちの自己有用感を高めていきましょう。

「わくわく地域連携教育だより」は、生涯学習課 HP にもアップしています。
ご意見・ご感想がある方は、以下のメールへお送りください。
shinnai.toshimasa@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

